

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「風に抱かれて」安曇野の民話を語り継ぐ
事業主体 (連絡先)	「安曇野の夜明け」制作委員会 (〒399-8301安曇野市穂高有明8660-10 Tel.0253-83-6491)
事業区分	③ 教育・文化の振興に関する事業 ⑥ ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,612,000円 (うち支援金:1,201,000円)

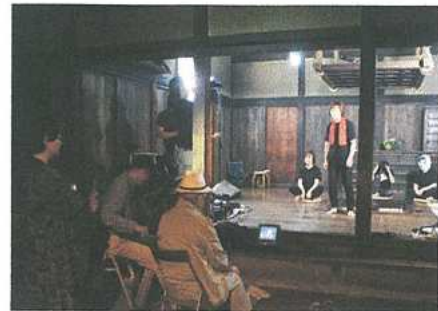
事業内容

1. 映像・DVD制作

民話「泉小太郎」「久米路橋の話」「ぶっこみの話」「もの喰わぬ女房」「雪女」「ものぐさ太郎」、「上原良治」の語り映像及び自然風景撮影収録。92分に仕上げた。DVD300枚を安曇野市の小・中学校、高等学校図書館、福祉施設、長野県下の市長村教育委員会に布した。

2. 「語り部の会」実施

11月16日松本市中山地区の読み聞かせの会との交流会。11月26日安曇野市赤十字病院で民話の会。11月29日、平成27年1月10日、3月21日、国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区で民話の集い。



「もの喰わぬ女房」撮影風景

【目標・ねらい】

- ① 民話を通じた地域の連帯
- ② 地元の教育・文化の向上
- ③ 特色ある観光地づくり

事業効果

- ① 民話を通じた地域の連帯・「語り部の会」の人たちが民話を通して仲間ができたり、地域の人たちと触れ合うことで地元の生活文化を共有でき連帯の意識が芽生えた。
- ② 地元の教育・文化の向上
 - ・安曇野市の小・中学校や各市町村の教育委員会へDVDを配布することで、子供たちが民話を学ぶきっかけができた
- ③ 特色ある観光地づくり
 - ・3年計画でこの事業を実施することで、民話の語りが観光客誘致に繋がるようにしたい。

※自己評価【 A 】

【理由】他市町村の団体とのネットワークができた。また、語りの会開催やDVD販売についての多くの問い合わせがあり、観光施設や病院での定期公演の話も進んでいる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

まだ地元に残る埋もれた民話があることから引き続き語りの映像化を進め「語りつぐ文化シリーズ第2弾」を製作していく。一般からの購入希望が多くあったDVDの販売を行い、地元の方には安曇野の再発見や、市外の方には安曇野に興味を持ってもらうことで観光客誘致に繋げていきたいと考える。語り部の会会員自らが創作する力をつけるための基礎を学び、安曇野の歳時記、季節の風景や暮らしなど新しい民話として創作し、市民や広く県内外に発信できる力をつける。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある